

内川未来戦略の推進に係る5か年ロードマップについて

内川未来戦略に掲げたビジョン「わざわざ暮らしたい奇跡の湊町、内川」の実現に向け、以下のとおり戦略推進の5か年ロードマップを策定、公表するもの。今後、官民が連携して各事業に取り組んでいく。

※内川未来戦略会議委員は、ロードマップ全体の推進に協力する。リード委員は、担当項目の推進をリードする役割を担う。

青文字：民間主導

項目	具体のアクション	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1
1 エリアの活性化、交流促進 【リード委員】木村、加治、明石、五十嵐、中川、永谷	朝市の定期開催 ・暮らしたい人を見つけ増やす。 ・地域の賑わい、人の交流 ・課題や可能性の可視化 ・情報発信力の強化	 朝市の試験開催	 朝市の定期開催 公式観光サイトの刷新 誘導看板の設置			
2 内川の情景を未来につなぐ 【リード委員】高木、野口	情景条例等の策定 ・情景（≡景観）のルールづくり ・内川の価値の言語化、共有 ・漁船などの象徴資産の維持・活用	 情景の価値共有のための講演会 景観誘導等に向けた基準の整理	 情景条例等の策定 景観誘導等の制度創設・運用 漁船の利活用（朝市と連動）			
3 移住者等の受入体制の強化 【リード委員】明石、中川、福田	空き家の徹底調査 ・空き家の実態把握 ・暮らしたい人の順番待ちリストの作成・可視化	 地域と連携した空き家等の流通促進（流通できそうな空き家を優先） 空き家実態調査（5年に1回）	 空き家詳細調査（流通可能かどうかを見極めていく。） 暮らしたい・チャレンジしたい人リストの可視化			
4 まちに必要 な機能の可視化 【リード委員】福田、青井	まちの未来会議の実施 ・既存住民に閉じず、未来のまちの担い手が広く参加する公開会議の開催 ・リノベーションスクールによる実践など民間主体のまちづくり事業の推進	 公開参加型会議の開催による暮らしに必要な機能の洗い出し／取りまとめ 空き家等のリノベーションによる事業希望者への伴走支援（リノベーションスクール） 新たな資金調達手段（ファンド）の運用・創設				